



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月28日

上場会社名 SMK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6798 URL https://www.smk.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 靖光  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 北平 至 (TEL) 03(3785)1111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,630	1.1	△75	—	1,180	—	680	—
2024年3月期第3四半期	34,243	△18.7	△556	—	39	△98.6	△316	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 523百万円(152.6%) 2024年3月期第3四半期 207百万円(△91.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	107.42	—
2024年3月期第3四半期	△48.32	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	58,516	32,027	54.7
2024年3月期	58,444	32,143	55.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 32,027百万円 2024年3月期 32,143百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	90.00	140.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当50円00銭 創立100周年記念配当40円00銭

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	3.2	200	—	600	165.2	200	—	31.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	7,200,000株	2024年3月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	862,818株	2024年3月期	860,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	6,338,304株	2024年3月期3Q	6,540,078株

(注) 自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況(市場別)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2035年長期ビジョン「あらゆるニーズを実現する“ものづくり力”で、次の100年に貢献する」を策定し、その実現に向けた最初のマイルストーンとして、2025年3月期～2027年3月期を対象期間とする中期経営計画「SMK Next100」の取り組みを開始しました。サステナビリティを前提として売上・利益の持続的成長の実現、事業を支える経営基盤の強化、資本・財務戦略の高度化により、企業価値の最大化を進めております。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、高インフレの沈静化や、米国経済の底堅さを背景に、比較的安定した動きとなりました。一方、米中対立、ウクライナ紛争の長期化や中東情勢の緊迫化による地政学リスクの継続、中国における不動産不況の長期化や消費マインドの低迷など、先行きの景況感是不透明な状態が継続しております。また、ドル円為替相場は、日米金融政策の動向などにより不安定な状況が続いております。

当電子部品業界におきましては、市況は全体としては緩やかな回復基調となったものの、やや停滞気味に推移しました。車載市場では、世界的な自動車販売減速やEVの失速により停滞感が見られました。情報通信市場では、スマートフォン、タブレットなどは在庫調整の一巡により堅調に推移し、AIサーバー関連が拡大しました。家電市場においては、住宅設備機器などで在庫調整が継続しましたが、高機能家電などの下支えにより堅調に推移しました。産機市場は半導体関連などの一部で需要増はあるものの、FA・設備関連は引き続き低調に推移しました。

当第3四半期累計期間においては、CS事業は車載、産機市場が好調に推移し前年を上回りました。SC事業は、車載、産機市場は前年を割り込みましたが、家電市場は堅調に推移しました。この結果、売上高は346億3千万円(前年同期比1.1%増)、営業損失は7億5千万円(前年同期は営業損失5億5千万6百万円)となりました。経常利益は円安による為替差益7億3千3百万円を計上し、11億8千万円(前年同期比2,919.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8千万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億1千6百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (CS事業部)

車載市場においては、カメラ関連が順調に推移したことに加え、E-Bike関連が好調で前年を上回りました。家電市場では、アミューズメント関連が拡大し前年を上回り、産機市場でも再生可能エネルギー関連が拡大し前年を大きく上回りました。一方、情報通信市場では、タブレット関連の需要増により上期は前年を上回って進捗しましたが、第3四半期に入り、タブレットと一部顧客のスマホ関連が減速しました。CS事業全体としては、前年を上回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は168億4千1百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は13億1千8百万円(前年同期比73.9%増)となりました。

#### (SC事業部)

家電市場では、サンタリー用・エアコン用・スマート家電用リモコンが順調に拡大し前年を上回りました。一方、車載市場では操作ユニットについて主要顧客の在庫調整が継続したことに加え、カメラモジュール関連では採用モデルの生産減や新製品の開発時期ずれの影響を受け減少し前年を下回りました。SC事業全体としては、前年を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は176億2千4百万円(前年同期比4.9%減)、営業損失は10億3千6百万円(前年同期は営業損失11億6千6百万円)となりました。

#### (イノベーションセンター)

イノベーションセンターの主力事業、無線通信モジュールの売上の中心であるBluetooth®モジュールにおいて、モバイルプリンタ用、医療機器用が前年を割り込みました。また、Sub-GHz通信モジュールについて、照明機器用が前年並みに推移しました。イノベーションセンター全体としては、前年を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は1億6千3百万円(前年同期比41.2%減)、営業損失は3億5千6百万円(前年同期は営業損失1億4千7百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、339億7千6百万円となりました。これは、商品及び製品が2億1千6百万円、仕掛品が6億2千3百万円それぞれ増加し、売掛金が5億4千6百万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、245億4千万円となりました。これは、有形固定資産が1億6千6百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、585億1千6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、151億5千7百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が7億4千4百万円増加し、電子記録債務が9億7千3百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.7%増加し、113億3千1百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、264億8千8百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、320億2千7百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1億3千9百万円増加し、退職給付に係る調整累計額が2億4千2百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年10月29日公表のとおりであり、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,258	10,327
受取手形	50	10
電子記録債権	3,132	2,818
売掛金	10,039	9,492
商品及び製品	3,424	3,640
仕掛品	592	1,215
原材料及び貯蔵品	5,240	5,003
その他	1,150	1,554
貸倒引当金	△64	△86
流動資産合計	33,824	33,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,245	4,100
土地	5,819	5,819
その他（純額）	5,263	5,241
有形固定資産合計	15,328	15,161
無形固定資産		
その他	130	216
無形固定資産合計	130	216
投資その他の資産		
その他	9,255	9,257
貸倒引当金	△94	△95
投資その他の資産合計	9,160	9,162
固定資産合計	24,619	24,540
資産合計	58,444	58,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,643	3,387
電子記録債務	2,058	1,085
短期借入金	5,840	5,840
未払金	1,801	2,151
未払法人税等	270	146
賞与引当金	572	418
役員賞与引当金	1	—
買付契約評価引当金	107	24
その他	2,075	2,102
流動負債合計	15,371	15,157
固定負債		
長期借入金	7,022	7,713
役員退職慰労引当金	132	122
退職給付に係る負債	37	38
役員株式給付引当金	27	36
その他	3,708	3,420
固定負債合計	10,929	11,331
負債合計	26,300	26,488
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,057	12,057
利益剰余金	13,253	13,296
自己株式	△3,030	△3,031
株主資本合計	30,276	30,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,159	1,064
繰延ヘッジ損益	△70	△30
為替換算調整勘定	△497	△357
退職給付に係る調整累計額	1,274	1,032
その他の包括利益累計額合計	1,866	1,708
純資産合計	32,143	32,027
負債純資産合計	58,444	58,516

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	34,243	34,630
売上原価	28,327	27,714
売上総利益	5,915	6,915
販売費及び一般管理費	6,471	6,991
営業損失(△)	△556	△75
営業外収益		
受取利息	67	121
受取配当金	64	48
不動産賃貸料	733	766
為替差益	217	733
その他	159	195
営業外収益合計	1,242	1,864
営業外費用		
支払利息	121	154
不動産賃貸原価	419	426
その他	105	27
営業外費用合計	647	608
経常利益	39	1,180
特別利益		
固定資産売却益	182	6
その他	1	—
特別利益合計	184	6
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	49	48
減損損失	104	80
投資有価証券評価損	1	2
特別退職金	86	—
特別損失合計	241	132
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18	1,055
法人税、住民税及び事業税	188	233
法人税等調整額	109	140
法人税等合計	297	374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△316	680
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△316	680



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△316	680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	△94
繰延ヘッジ損益	△84	40
為替換算調整勘定	353	139
退職給付に係る調整額	△59	△242
その他の包括利益合計	523	△157
四半期包括利益	207	523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207	523

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	S C I 事業部	イノベーション センター	計	
売上高					
外部顧客への売上高	15,422	18,542	278	34,243	34,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,422	18,542	278	34,243	34,243
セグメント利益又は損失(△) (営業損失)	757	△1,166	△147	△556	△556

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	S C I 事業部	イノベーション センター	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,841	17,624	163	34,630	34,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,841	17,624	163	34,630	34,630
セグメント利益又は損失(△) (営業損失)	1,318	△1,036	△356	△75	△75

## 2. 報告セグメントの変更に関する情報

2024年4月1日付で実施した組織再編に伴い、事業部・開発センターに営業本部(本社)を統合するとともに、開発センターにマーケティング部の新規事業部門を統合し、イノベーションセンターに改組しました。これにより、第1四半期連結会計期間より、従来は「開発センター」と表示していた報告セグメントの名称を「イノベーションセンター」に変更し、「その他」の区分に含めていたその他部品事業を「S C I 事業部」及び「イノベーションセンター」の区分に含めております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の報告セグメントの名称及び区分に基づき作成しております。

なお、事業部・開発センターと営業本部(本社)の統合について、同様の条件で前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を作成することは実務上困難であるため、これらを組み替えた情報については開示を行っておりません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,839百万円	1,745百万円

## 3. 補足情報

受注及び販売の状況(市場別)

## ①受注実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
情報通信	5,481	17.2	5,010	14.3	△471	△8.6
家電	11,667	36.6	14,989	42.9	3,321	28.5
車載	11,859	37.2	11,247	32.2	△611	△5.2
産機・その他	2,877	9.0	3,713	10.6	836	29.1
合計	31,886	100.0	34,961	100.0	3,074	9.6

市場別	(参考)前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	金額	構成比
情報通信	7,668	17.6
家電	16,326	37.4
車載	15,825	36.3
産機・その他	3,833	8.8
合計	43,653	100.0

## ②販売実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
情報通信	5,854	17.1	5,503	15.9	△351	△6.0
家電	13,341	39.0	14,647	42.3	1,306	9.8
車載	11,880	34.7	10,911	31.5	△969	△8.2
産機・その他	3,167	9.2	3,567	10.3	400	12.6
合計	34,243	100.0	34,630	100.0	386	1.1

市場別	(参考)前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
	金額	構成比
情報通信	7,908	17.0
家電	17,500	37.6
車載	16,599	35.7
産機・その他	4,513	9.7
合計	46,522	100.0